

## MSDS

(製品安全データシート)

### 1. 物質及び製造元

製品名: BV4 日本エコロジア株式会社

### 2. 物質の特定

単一製品・混合物の区分: 混合物

主成分:

原料名	CAS No.	%
エタノール	64-17-5	5%以下
イソプロパノール	67-63-0	0.5%以下
複合食品添加物	CAS No 有り	90%以下
水	7732-18-5	5%以下

### 3. 危険有害性の要約

有害性: 通常の取扱いで有害性は低い。

物理的及び化学的危険性: 引火性なし。

分類の名称(分類基準は日本方式): 分類基準に該当しない。

### 4. 応急措置

目に入った場合: 清浄な水で15分以上瞼の奥までよく洗い、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合: 多量の水及び石鹸で洗い流す。  
必要に応じて医師の診断を受ける。

吸入した場合: 水または温水で口の中を洗浄し、医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合: 口をすすぎ、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。  
無理にはかせてはいけない。  
応急処置を施した後、速やかに医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤: 水噴霧、砂、粉末、二酸化炭素、泡沫等。

特定の消火方法: 消火剤を火元へ放射、散布等して消火する。  
消火作業は可能な限り風上から行う。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。  
消火を行う者の保護： 消火作業では、状況に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 作業の際、皮膚に触れないようゴム手袋等、保護具を着用し、換気を良くして処理する。  
環境に対する注意事項： 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を起さないように注意する。  
除去方法： 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる金属容器に回収する。  
多量の場合には、盛土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。  
二次災害の防止策： 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策： 火気厳禁。電気機器類、静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。  
注意事項： 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。  
袋にキズをつけたり、孔が空かないように取り扱う。  
安全取扱注意事項： 暴露防止のため、保護具を着用して作業を行う。  
蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。  
取扱い後は十分に手洗いをする。

### 保管

適切な保管条件： 適切な換気のある冷暗所に密閉して保管する。  
その他： 消防法、労働安全衛生法等の法令の定めることに従う。

## 8. 暴露防止措置

設備対策： 取扱いの際は、密閉された装置又は局所排気装置を使用することが望ましい。  
手の保護具： 必要であれば保護手袋  
目の保護具： 必要であれば保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具： 必要であれば(長袖作業着)

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等： 黄褐色で特有の香気がある  
比重： 0.95  
溶解性： 水に溶解

引火点： なし

#### **10. 安定性及び反応性**

安全性： 通常の条件下では、安定で、自己重合性はない。

反応性： 特記すべき反応性なし。

危険有害な分解生成物： 自己分解により有毒ガスを発生することはない。

#### **11. 有害情報**

特記すべき有害成分は含有していない。

#### **12. 環境影響情報**

データなし。

#### **13. 排気上の注意**

残余廃棄物、容器、包装などは、産業廃棄物として適切に処分する。

#### **14. 輸送上の注意**

国内法規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。

海上輸送： 船舶安全に定められている輸送方法に従う。

航空輸送： 航空法に定められている輸送方法に従う。

国連分類： 国連の分類基準で評価して危険物に該当しない。

国連番号： なし。

輸送の特定の安全対策及び条件： 容器を転倒、落下などの粗暴な取扱いをしない。

引火性の液体であり、火気厳禁とする。

消防法危険物の第一類及び第六類と混載しない。

#### **15. 適用法令**

消防法： 非該当

#### **16. その他**

記載内容は「原材料製造会社から提出された製品安全データシート」に基づいて作成してありますが、記載のデータや評価は必ずしも安全性を保証するものではありませんので、取扱には注意が必要です。また、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。